

はつらつ倶楽部の皆様へ

2会場で、79名の  
皆さんが交流しました

# 12月情報交換会

## を開催しました

令和元年12月は、「認知症について学ぼう」をテーマに、認知症のある方と一緒に活動することについて考えてみました。また、普段の活動内容や悩みについてもみんなに相談する機会を設け、盛んな情報交換が行われました。

\*当初は浅川公民館を含めた3会場で実施予定でしたが、参加希望者が少なかった浅川公民館会場を中止にして真島保健センター・ふれあい福祉センターの2会場で実施しました。



### ★「認知症について学ぼう」

～認知症サポーター講座から、普段の活動へ～

グループワーク  
みんなで楽しく活動する方法

地域の誰もが楽しく参加できる「はつらつ倶楽部」を目指して、認知症について改めて学びました。

認知症についての基礎知識の普及と、地域みんなが支えあい、「認知症があっても暮らしやすい地域づくり」を目指すための『認知症サポーター講座』を受講した後で、自分の「はつらつ倶楽部」であれば、認知症のある方にどんな支援ができるか、どんな支援をした経験があるか等をグループに分かれて話し合いました。



まずは近所・地域の交流を多くして、お互いに手を差し伸べることが出来る関係を作ろう。

いつ来ても良い雰囲気を作ろう。

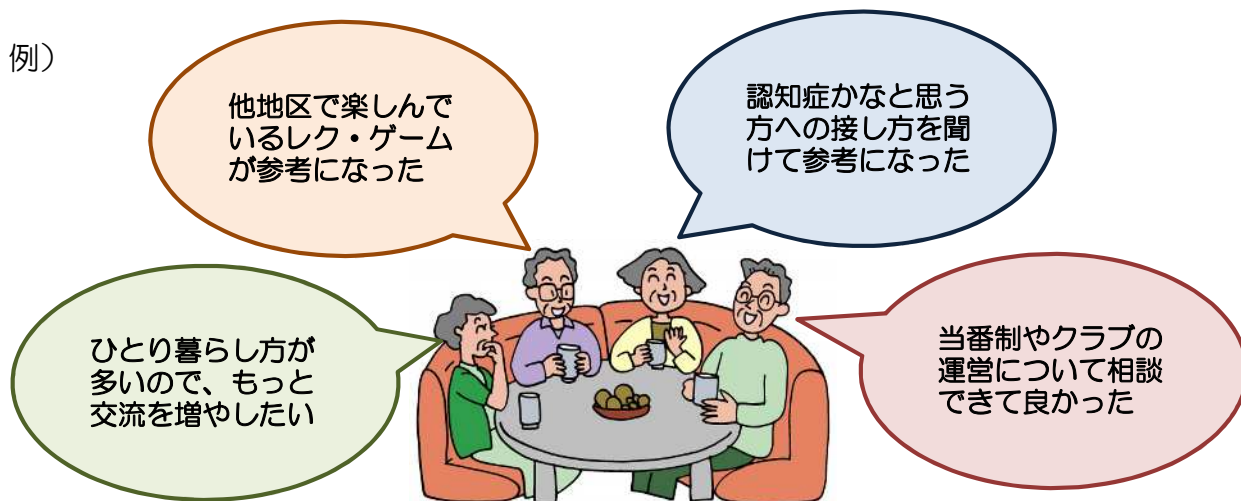
グループの中で、認知症かな？心配だわ…と思う方がいれば、地域包括支援センターに相談しています。



## ★お互いの「活動・悩み」について、自由な情報交換

今回の情報交換では、特にテーマを設けず、自由に話す形式で行いました。  
非常に活発に、情報交換が行われ、「時間が足りない」「とても参考になった」  
「活動に取り入れたい」等の感想が聞かれ、参加者それぞれに成果があった様です。

例)



長野市 地域包括ケア推進課